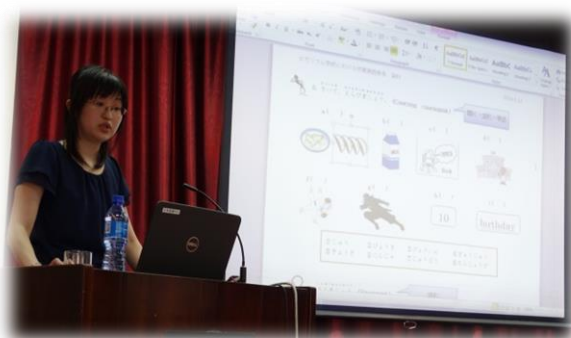


発表：ロガリウム学校における授業実践報告（中学年からの日本語学習）

牧久美子（ロガリウム学校）



<資料の補足>

- ポートフォリオ：他の先生方の発表にもあった通り、この役割は非常に大切。学習者に自主的に使ってもらいたい。しかし、実際はなかなか有効に活用できず、困っている。たとえば、1学期終了後にクラス内でお互いのポートフォリオを見合っで学習者同士でコメントを書き合ったが、「頑張って勉強してね」等、一般的なコメントになりがちで、ポートフォリオの内容に触れたものはなかった。また、3学期初めには、2学期を振り返ってどうして成績が上がった（下がった）と思うか、今学期は何をしたらいいか等を一人一人に考えさせ、それをポートフォリオに入れて学習の励みにしようとしたが、学習者は振り返りや目標を具体的に考えることができなかった。ただ、「頑張ったから成績が上がった」「3学期の目標は100点」「そのためにとっても頑張る」のように漠然としたコメントに留まった。
- 学習者が自己学習できるようになるにはどうしたらいいか、ということが悩んでいることの一つ。これまで宿題や自宅学習を強制してこなかったため、学習者はそれぞれ自由にやっており、自分でどんどんやる学習者と全然やらない学習者の差が大きい。教師としてどこまですればよかったのか。
- 4学期はカタカナの学習を始めるが、どのように進めるか、他の先生方にご相談しながら考えていきたい。ひらがなと同様に進めたらいいのか、それとももっと別のやり方がいいのか。
- 来年度以降、スタンダード実践において、ほかの学校とどう関わっていくべきか。中学年から学習を開始する本校のような学校は、現在作成中の統一教科書になじむのか。
- もう一つ、来年度以降、文字学習の進め方も再検討したい。今回は行ごとに読み・書きと順番に進めてきたが、時間もかかるため、それがよかったのか。